

としゃレポート

2014年12月号
E-メール...nakatatoshiya015@gmail.com

発行 : 日本共産党大垣市後援会
発行日 : 2014年12月1日 第7号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部
内
資
料

<中田区域>
江並中・南中・東中
北中・星和中・赤坂中
宇留生小・墨保全域



中田としゃの市政ウオッチング

12月14日投票で衆議院選挙が行われることになりました。私も、突如選挙モードに突入し、街宣やビラ配りなど、頑張っております。12月は市議会も行われます。今号では、衆院選に向けての記事と、12月議会の予告記事を掲載します。

解散年の瀬総選挙 国民の力が政治を動かす時代が来ました

「アベノミクス解散」はまやかし 悪政の全権委任をねらう

安倍首相は「アベノミクス解散」と称して、今度の選挙を経済政策に絞り込んでいます。小泉内閣での「郵政解散」を思い起こさせます。

消費税の10%への増税を1年半先送りするために信を問うと国民の増税反対の声に耳をかすそぶりを見せつつ、1年半後は絶対に上げると増税派をなだめる、手の込んだやり口です。

国民の反対の声に 追いつめられての解散

消費税・社会保障・TPP・労働者派遣法・集団的自衛権・秘密保護法・原発再稼働・沖縄基地移転と、圧倒的な議席数を頼んで打ち出した政策のほとんどが国民の激しい反発をかい、支持率も下がってきました。

安倍政権が集団的自衛権行使の容認に踏み切った7月1日の閣議決定の後、日本共産党は、党創立92周年記念講演で志位委員長が、このうえ亡国の政治を継続することは国民にとって不幸だとして「安倍政権打倒」を呼びかけてきました。

広範な方々の共同で 安倍暴走政治にストップを

選挙への野党の準備不足を見透かして、いまなら自公政権が生き延びると踏んでの突然の解散・総選挙です。もし思わく通りになったら、今度こそ、10%増税はもとより国民の過半数の反対する諸政策を一気に進めていくことでしょう。

日本共産党は、この選挙で、自公政権にきっぱりと対決し、道理ある対案を示しながら、広範な方々との共同で、選挙をたたかいぬいて飛躍的な議席増で勝利し、国民の皆さんに応える政治の実現をめざします。

後援会員の皆さん 周囲の方への呼びかけを ご協力をお願いします

すでに訴えのチラシがお手元に届いているかと思います。後援会員の皆さんには、今度の選挙の歴史的にも重要な意義をご理解いただき、ご家族はもちろん、ご親戚・近所の方々・同窓生・知人などできる限り多くの方々と選挙を話題にしていただき、日本共産党への支持を呼びかけていただきますよう、お願いいたします。

としゃの現地レポート 沖縄県知事選挙、翁長(オナガ)氏圧勝

11月16日、第12回沖縄県知事選の投票が行われ、無所属新人で前那覇市長の翁長雄志(オナガ タケシ)氏が当選を決めました。

私も、皆様のご支援とご協力を頂き、11日(火)~13日(木)の2泊3日で選挙応援に行ってきました。

那覇市の首里城の近くの事務所で、ポスティング、ビラ折、旗持ち、対話活動など、翁長さんの声を聞く機会もないほど、体を張って活動をしてきました。

私は、選挙運動未経験者でしたので、選挙とは多くの方の地道な票の積み重ねによって支えられている、ということ強く実感しました。

ポスティング中に街から聞こえる宣伝カーの音、撒かれているチラシ量、対話の反応、交差点にある旗の数、どれをとっても翁長陣営が有利、という雰囲気醸し出してあり、「盛り上がる空気

を作れば勝てる」「選挙期間前の準備が重要」と教訓を得ました。



美しい辺野古の海は見られなかったし、住宅と近く危険な普天間基地も行けなかったし、候補者の姿を拝めることもなかったし、「本土は自らが嫌な基地を琉球に押し付けている、そのことに無関心」という話を聞くこともできなかったけれど、まずは勝ったことに安堵。

勝つから楽しい、選挙は。

沖縄名物の違法宣伝物



12月議会はじまる

11月21日、議会運営委員会が開かれ、12月定例会の会期・日程を別表の通り決めました。議案は、補正予算5件、条例9件、財産の取得2件指定管理者の指定5件など計25件です。

補正予算

- * 社会保障・税番号制度中間サーバー整備費負担金..... 130万円
- * 県・市議会議員選挙費..... 1950万円
- * 民間保育所増改築事業補助金（ながさわ保育園）..... 1143万円
- * 衆議院議員選挙費 11月補正予算（専決）..... 4000万円

条例等関係

- * 人事院勧告に準じ、職員給与等を改定する。
- * 財産の取得について：大垣駅西自転車駐車場の土地・建物..... 1億9180万円
- * 子育て支援施設（再開発ビルの2階）..... 2億5440万2千円

- * 指定管理者の指定：川並・中川・青墓の各地区センター、青年の家、職業訓練センター
- * 人事案件：教育委員会委員の任命

12月議会日程

12月1日(月)	10:00	本会議（議案提案）
8日(月)	10:00	本会議（一般質問）
10日(水)	10:00	子育て支援対策委員会
	13:00	市民病院に関する委員会
11日(木)	10:00	建設環境委員会
	13:00	経済産業委員会
12日(金)	10:00	文教厚生委員会
	13:00	企画総務委員会
15日(月)	9:30	議会運営委員会
	10:00	本会議

街の活性化」など様々な分野にわたっており、総合的な交通政策を作る必要があります。また自治体単位で考えるのではなく、人の移動が自治体を超えて行われるので、広域で検討する必要があることなど話し合い、「地域交通を考える研究会」を立ち上げました。次回は1月18日午後2時より第2回研究会を開催する予定です。



としやの市政ウォッチング どろんこ子どもクラブを訪問して

11月19日(水)、民間学童保育どろんこ子どもクラブ（大垣市新田町）を訪問しました。学童保育とは、共働き家庭や母子・父子家庭の小学生の毎日の放課後の生活を守る施設です。大垣市では「留守家庭児童教室」と呼ばれています。

14時過ぎ、指導員の先生方が隣接校区へお迎えに向かいます。私も同行し、道中、A先生から話を聞くことができました。「どろんこは土曜もやっている、5年6年も来る。市の留守家庭児童教室とは違う取り組み」「市へ要望は、施設料の減免。今は元理美容学校舎を借りている」「離れた校区の送迎は難しく市の補助が欲しい」

子ども達が帰ってくると、最初こそ「新しい男の先生来たの？」と距離はあったものの、慣れるとがっちゃん鬼、あんたがたどこさなど体を動かして遊び、17時のすいとんを頂いた後、子どもの本読みを聞き宿題を見守りました。

帰り際、指導員の先生から「男性の指導員が結婚を機



綱引きする子ども達

に退職した。学童保育指導員の年収は半数が150万未満。男性も働ける雇用条件を」と話を聞きました。

外で遊ぶ子どもの姿を多くは見かけません。子供たちが放課後気軽に集える居場所の整備とともに、19時を過ぎても働く大

人が迎えに来るまで時間延長しても待つ学童保育を支援し、また子育て支援においては、「子ども目線」を忘れずにいたいと考えた訪問でした。

お知らせ

日本共産党演説会

とき...2014年12月6日(土)
午後2時

ところ...大垣市北地区センター
主催 日本共産党大垣市委員会

日本共産党大垣市後援会のメールグループ、始めました。ご登録をご希望の方は、下記のアドレスにお名前をご送信下さい。

oenb@nakata-toshiya.com



としやの活動日誌

11月活動報告

- 2日 地域のお祭りに出店
- 3日 KENSCUBに参加
- 6日 ワールドカフェ講座
- 9日 フットサル大会に参加
- 11日～13日 沖縄県知事選挙応援
- 16日 まるごとパザール
- 22日 友人結婚式
- 28日 衆院選事務所びらき
毎週金曜日に街宣やっています

12月活動予定

- 1日 法律事務所後援会の小集会
- 2日 公示、決起集会
- 6日 大垣市小演説会
- 8日 大垣市議会一般質問
- 2日～14日 衆院選応援活動

「地域交通を考える研究会」発足

11月21日、西濃各地の共産党議員と関心のある市民が集まり、西濃地域の交通問題について話し合いました。この会には、元運輸局の職員で、岐阜の交通政策にも関わった可児紀夫氏を助言者として迎え、各地域の交通事情など出し合いました。

交通問題は、「買い物や病院への通院など移動の確保」「高齢者の外出機会を増やす」「自転車の安全走行」や「安全な歩行環境」「通学時の安全確保やスクールバス」「商店